

▶高校生と一緒に稲刈りを行った児童



大網小学校の5年生が、9月4日に市民農園近くの大網高校実習用水田で、稲の刈り取り体験をしました。

美味しいお米ができたかな 〜稲刈り体験〜 大網小学校&大網高校

これは総合的な学習の時間で児童たちがお米ができるまでを学ぶために行っているもので、同高校農業経済科作物専攻生の指導の下、4月には田植えも行い収穫を楽しみにしていました。
この日も同高校の生徒から鎌の持ち方や根元を握って一気に裁断する方法を教わり、稲刈りを開始。雨上がりのぬかるんだ田んぼに戸惑いながらも児童たちは、汗をかきながら、一生懸命に稲を収穫し、高校生が脱穀機へかけてくれました。力を合わせて収穫されたお米は給食で味わいます。
なお、9月14日には大網東小学校の5年生も稲刈りを体験しました。

市内の話題
お届けします

まちのニュース

OAMISHIRASATO NEWS



▲塚原選手から速く走るコツをアドバイスしてもらう児童

オリンピック選手と交流 増穂北小学校



▲見事な走りを披露する塚原選手

2008年の北京オリンピック4×100mリレーの銅メダリスト 塚原直貴選手が、9月3日、増穂北小学校を訪問しました。この行事は県教育委員会主催の「ちば夢チャレンジかなえ隊」でオリンピック選手との交流を通じて、夢に向かって挑戦することの大切さに気付いてもらうことを目的に行われました。児童から「大会前にプレッシャーは感じますか?」、「どんな練習をしていますか?」などの質問に、「プレッシャーは感じません。今何をしたいか、どうしたらいいかを考えることの方が大切。今日もみんなに喜んでもらうにはどうしたらいいかを考えています」、「練習は走るだけではなく、跳んだり、プールやゴムチューブを使ったりもします」と二つ一つ丁寧に答えていました。

また、代表児童と塚原選手との50m走対決では、塚原選手の素晴らしい走りに歓声が沸き起こり、最後には銅メダルをさわらせてもらったり、ハイタッチをしたりするなどして交流を楽しみました。

戦後70周年特別講演会 世界からのメッセージ ~平和と命の大切さ~

戦場カメラマンの渡部陽一氏を講師に迎えた戦後70周年特別講演会が、8月29日に大網白里アリーナで開催されました。



▲講演を行う 戦場カメラマン 渡部陽一氏

渡部氏は、戦争の現場について、また、平和の大切さについて、自身が撮影した写真を交えて語り、約500人の参加者が熱心に耳を傾けました。その他にも、戦争の犠牲者はいつも子ども、これからは戦場に生きる子どもたちの声を伝えていく必要があると語られました。

参加者からは「平和の大切さについて改めて考えるきっかけになった」、「映し出される写真や、渡部氏のジェスチャーを交えた講演は見応えがあった」などの感想が聞かれました。

本市では、これからは子どもたちを含めた幅広い世代の方に対し、平和の大切さについて伝える取り組みを行っていく予定です。

▶歌って、踊って楽しみました



保健文化センター3階ホールで、「すみだ川のほとりに笑顔咲くほいくえん園長」 菊地政隆先生による健康づくり講演会が開催され、大勢の親子連れ等が楽しみました。

まあ先生と一緒に!親子コンサート 親子健康づくり講演会

講演会は子どもたちが大好きな手遊びを入れたものや、親子でスキンシップを図れるプログラムで、お母さんたちも子どもと一緒に歌ったり踊ったりしていました。また、自身もお父さんというまあ先生。「育児はほんとうまくいかないこともあるけど、毎日親子のかかわりを持って、お子さんをいっぱいいっぱいほめることが一番大事ですよ」とお母さんたちにアドバイスを送っていました。終了後にはヘルスメイト(食生活改善推進員)さんが作った健康おやつ「とうふドーナツ」も配られ、体をいっぱい動かした子どもたちは美味しそうに食べていました。

災害への心構え

~地震体験車と煙体験ハウス~

瑞穂小学校

9月2日に瑞穂小学校で防災意識の向上を目的に、地震体験車と煙体験ハウスによる大地震や火災などの災害の模擬体験が行われました。

児童たちは煙体験ハウスで火災時の建物に充満する煙を、地震体験車では震度6の揺れを15秒間体験しました。

地震体験では、4人1組になり、順番に地震の揺れを体験。揺れが発生すると児童たちは、手すりをつかんで椅子から落ちないように体を支えました。

震度6の揺れを体験した児童からは、「思ったより揺れた。実際に地震があったら怖い」、「震度6の地震は経験したことがなかったので、体験できて良かった」、「訓練して準備しておくことが大事と感じた」などの声が聞かれました。



▲地震体験の様子を見守る児童たち



▲煙の怖さを体験する児童たち

社会を明るくする運動 ~ミニ集会を開催~

社会を明るくする運動の一環として、9月9日に中部コミュニティセンターで市保護司会・更生保護女性会・家庭教育学級が主催するミニ集会が開催されました。子育てについて共に学び合い、交流を深めることを目的とするミニ集会。

静岡県にある駿府学園(少年院)の元園長松本哲氏を講師に迎えた講演会では、熱心に聞き入りメモをとる参加者の姿が見られました。

参加者同士のグループトークは、「お子さんとの関わりの中でどんなことを大切にしていますか?」というテーマで意見交換が行われ、リラックスした雰囲気の中で自身の子育てについて話していました。

参加者からは、「世代の違う方の話を聞くことができ、とても良かった」との感想が聞かれました。



▲グループトークの発表を行う参加者